

愛知一中・旭丘バスケット部OB会 会計報告

1. 平成3年度決算報告（平成2年10月1日～平成3年9月30日）

収入の部		支出の部	
年会費(202名分)	462,000円	通信費	104,424円
利息	2,009	印刷費	97,040
前年繰越金	40,410	事務費	3,430
		会議費	36,587
		事業補助金(新年会、4校リーグ)	81,657
		鯨光会運動部連合会会費	30,309
		現役補助金(コーチ謝礼等)	100,000
		繰越金	50,972
合計	504,419円	合計	504,419円

平成3年新年会 収入	会費(33名)	49,500円	支出	101,157円
	OB会より	51,657		

2. 平成3年度 予算案

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	50,972円	通信費	100,000円
年会費(300名)	480,000	印刷費	150,000
利息	5,000	事務費	20,000
合計	535,972円	会議費	50,000
		事業費(新年会・四校リーグなど)	80,000
		鯨光会運動部連合会々費	30,000
		現役補助	100,000
		繰越金	5,972
		合計	535,972円

3. 定期預金の部

昭和62～平成3年度(5年間)	
名簿作成準備金	644,232円

役員会報告

11月22日、今年度の役員会を顧問の近藤先生を交えて20名のOBで行ないました。主な内容をここに紹介します。

(1)平成3年度会計報告

多くのOBの協力で今年度は2年度を6万円程上回る46万円余の会費収入がありました。有難うございます。

(2)平成4年度予算案

しかし財政はかなり厳しい状況です。鯨光会運動部会へ3万円、4校リーグへ3万円等と毎年の支出は増えていきます。そこで長い間一、五〇〇円だった新年会のパーティ代金を二、〇〇〇円に値上げしてOB会からの援助を減らさうということになりました。御理解をお願いいたします。もちろん何よりも一人でも多くの方が新年会に顔を出し、また会費を出して頂ければ幸いです。

(3)平成3年度の主な事業の報告

なお、現役補助は毎日現役諸君を厳しくかつ理論的に指導してくれている杉山コーチ(旭35回・現旭丘体育講師)への援助にあてました。

(4)役員改選について

今年度は役員改選の年となっており、(役員任期2年)しかし名簿発行等で準備ができませんでした。そこで会長始め主な役員はもう1年残留することとなりました。今年度中に時期体制を副会長の大島氏(10回)中心に人選していく予定です。

(5)鯨光会運動部連合会について

愛知一中・旭丘一一〇周年を記念して3年ほど前に上記の会が結成され旭丘の運動部を中心に物心両面で援助がなされています。3年度は、我がバスケットボール部が、小森氏(一中62回)田中氏(一中65回)岩城氏(旭7回)の骨折りで

(6)現役の活動報告

4頁を見てください。久々の、念願の4校リーグ総合優勝です。OBからの熱い声援の下、そして近藤先生や杉山コーチの指導の下現役が男女ともに力をつけてきました。またしばらく続いた現役の早期引退も少しづつ無くなってきたようです。体力的、技術的にはなんとか県体大会を狙えるようになってきたとのこと、期待しましょう。

円余の資金を準備してきましたが、ほぼ全額を今回使ってしまうこととなります。今後のOB会の運営のために是非とも会費を2口以上お納め願います。

今年度は役員改選の年となっており、(役員任期2年)しかし名簿発行等で準備ができませんでした。そこで会長始め主な役員はもう1年残留することとなりました。今年度中に時期体制を副会長の大島氏(10回)中心に人選していく予定です。

愛知一中・旭丘一一〇周年を記念して3年ほど前に上記の会が結成され旭丘の運動部を中心に物心両面で援助がなされています。3年度は、我がバスケットボール部が、小森氏(一中62回)田中氏(一中65回)岩城氏(旭7回)の骨折りで

カウンタースポイスプレイ一式 25万
女子部ユニフォーム一式 12万
という多額の援助を受けることができました。

なお田中氏は副会長に岩城氏は理事に就任され、ますます活躍されることとです。

4頁を見てください。久々の、念願の4校リーグ総合優勝です。OBからの熱い声援の下、そして近藤先生や杉山コーチの指導の下現役が男女ともに力をつけてきました。またしばらく続いた現役の早期引退も少しづつ無くなってきたようです。体力的、技術的にはなんとか県体大会を狙えるようになってきたとのこと、期待しましょう。

また名簿の作成と、発送用に60万

員

()内は卒業年次

幹事	山田正秋	(一中60)
〃	小森治雄	(〃62)
〃	伊藤求	(旭丘8)
〃	松浦裕	(〃13)
〃	芹沢徹	(〃13)
〃	岩瀬晃彦	(〃15)
〃	若山秀夫	(〃18)
〃	岸田真	(〃20)
〃	小林利行	(〃23)
〃	小丹下雅博	(〃27)
〃	斉場実	(〃32)
〃	加藤茂和	(〃35)
〃	吉原基	(〃36)
〃	高原玲子	(〃37)
〃	林靖訓	(〃38)
〃	村山浩二郎	(〃38)
〃	柴田明恵	(〃38)
〃	太田和恵	(〃39)

役

名誉会長	柴垣芳太郎	(一中60)
会長	河地一宏	(旭丘9)
副会長	大島浩	(〃10)
〃	服部保孝	(〃25)
会計	近藤耕司	(〃29)
〃	服部敦	(〃29)
会計監査	岩城新	(〃7)
〃	鈴木啓二	(〃10)
相談役	田中三郎	(一中65)
〃	伊藤圭一郎	(旭丘1)
〃	川本賢二	(〃3)
〃	大山隆久	(〃5)
〃	岩城新	(〃7)
〃	荒川宏	(前顧問)
〃	松下一郎	(現顧問)
〃	近藤仁司	(〃)

第42回四校リーグ「旭丘総合優勝」

(8月3日・4日 明和高校にて)

1. 現役男子 試合結果

		旭丘	明和	菊里	向陽	
優勝	旭丘	****	○66-58	○73-25	○97-46	3勝0敗
2	明和	×58-66	****	○53-41	○63-44	2勝1敗
4	菊里	×25-73	×41-53	****	×60-61	0勝3敗
3	向陽	×46-97	×44-63	○61-60	****	1勝2敗

2. 現役女子 試合結果

		旭丘	明和	菊里	向陽	
2	旭丘	****	○59-30	○47-40	×39-73	2勝1敗
4	明和	×30-59	****	×31-73	×35-99	0勝3敗
3	菊里	×40-47	○73-31	****	×40-66	1勝2敗
優勝	向陽	○73-39	○99-35	○66-40	****	3勝0敗

3. 総合

優勝	旭丘高校	5勝1敗
第2位	向陽高校	4勝2敗
第3位	明和高校	2勝4敗
	菊里高校	1勝5敗

4. 個人戦

優秀選手賞

(男子)

旭丘 川本 恭朗
明和 榊原 仁
菊里 飯沼 貴浩
向陽 佐藤 創

(女子)

旭丘 服部登志子
明和 野田 純代
菊里 島津恵里加
向陽 渡辺なおみ

5. OB・OG戦結果

(男子)

優勝 旭丘
第2位 向陽

(女子)

優勝 向陽
第2位 明和

6. 超OB戦結果

明和 対 連合チーム 連合チームの勝ち

現役の近況報告

全国高等学校選抜バスケットボール選手権大会予選も終わり、現在は1月に行われる新人戦に向かい、練習を始めたところです。

先の大会では、男女とも名北地区のBEST8を決める試合で敗退してしまいました。「この試合にさえ勝っておけば県大会は確実だ！」という試合だったのですが、持ち前の「気の弱さ」が顔を出してしまい完敗でした。

男子の場合、身長・能力ともに他の高校に劣ってはいません。むしろ練習試合において旭丘が勝っている高校が、県大会に出場しているという現実があります。この事を、一言「くじ運が悪い」で片づけるのは簡単です。しかし、くじ運を呼び込むのも自分たちの実力です。現在は、1対1の能力を高める、ボールキープの確実性を高める、パスの正確性を高める、以上の3点を目標に練習を行っています。

女子の場合、スピードで勝負を挑まれると圧倒されてしまうという弱点があります。このため現在は、スピード養成とドリブルの技術力アップを目標に練習を続けています。また、1年生の未経験者の3人の技術が確実に伸びてきており、スターティングメンバーの一角を脅かす存在になってきました。この事がチーム内の活性化につながり、引いてはチーム全体の戦力アップにつながればと思っています。春先に故障した2年生のセンターの調子も上向きになり、戦力が整ってきました。

男女ともに、精神面をより充実させ、新人戦に勝負を掛けたいと思っています。

先日、鯉光会運動部より、デジタルカウンター1台・30秒計1台・女子ユニフォーム代15着分を援助して頂きました。大変にありがたい援助でした。このような援助に恥じないよう、選手ともども頑張っていますので、これからも応援をよろしくお願いいたします。

(コーチ)

編集後記

やっと名簿の改訂が完成しました。いかがですか？不明が少しでも少なくなるように年次代表には色々面倒をかけました。またミスのないように何人ものOBを煩わせて校正もしてきました。

名簿発行はとてもお金と、労力のかかる仕事です。今回の名簿は、少しでも長く使えるように工夫して作ったつもりです。不明者は空欄にしてあります。所在がわかったり、変更があったらこの会報を通じてお知らせしますのでご記入下さい。また、そのために同封の葉書を毎回必ず返信して下さい。

コンピュータ化の波は様々な方面まで及んできています。今回の名簿はパソコンで作成しました。現在そのデータのデータベース化に取り組んでいます。時折、会報の原稿もファクシミリで送られてきます。しかしまだまだそれで楽ができるところまでは使いこなせていないのが現実のようです。

名簿やOB会運営について忌憚りの無いご意見をお聞かせください。

編集責任者

服部保孝(25)

近藤耕司(29)

服部 敦(29)

杉山英士(29)